

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

上記基準日 定時株主総会については3月31日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

剰余金の配当受領 期末配当金については3月31日
 株主確定日 中間配当金については9月30日

単元株式数 100株

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人
 及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 (郵便物送付先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

証券・銘柄コード 7458

<お知らせ>

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関になっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 当社は、貸借対照表及び損益計算書並びに連結貸借対照表及び連結損益計算書を、当社ホームページ(<http://www.dkkaraoke.co.jp/>)に掲載しております。

株主優待のお知らせ

2011年9月30日最終の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に保有株式数に応じて優待券を贈呈いたします。

所有株式数	年2回発行	
	優待券(*1)	CD交換(*2)
100株以上 1,000株未満	500円券×10枚	1枚
1,000株以上	500円券×25枚	2枚

(*1)当社が運営する「ビッグエコー」店舗、「楽蔵」「ウメ子の家」「びすとろ家」などの飲食店をご利用いただけます。

(*2)優待券全額と引き換えを条件に、アルバムCDと交換いただけます(カタログより選択)。

贈呈時期:2011年12月2日より送付開始
 有効期間:2012年1月1日～2012年6月30日

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 7458

いいかぶ 検索 Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元
 に到着してから約2ヶ月間です。 **ご回答いただいた方の中から
 抽選で薄謝(図書カード500円)
 を進呈させていただきます**

e-株主リサーチ ※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳細 <http://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30)
 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

CONTENTS

- 株主の皆様へ
- セグメント別概況
- 連結決算概要
- クローズアップ 事業探訪
- 会社概要
- 株式の状況



代表取締役社長

林 三郎

2011年10月には、生活総合機能改善機器「FREE DAM」を発売し、介護施設等に向けてさらなる営業強化を進めてまいります。

また、未開拓であった健常高齢者向けに、歌と健康とコミュニケーションを目指す参加型コミュニティとして、「Dramatic Active Member's DAM倶楽部」のパイロットショップを2011年11月に東京・高円寺に开店いたしました。会員制の施設で、カラオケルーム、スタジオやカフェを併設する今までにない新たな業態となります。ここで、様々なニーズを検証し、運営ノウハウを確立しながら、今後積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

当社グループは音楽・歌を通してすべての人々に喜びと楽しさを提供し続けることで、社会に貢献できる企業グループを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き倍旧のご支援ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの復旧が急速に進むなか、企業の生産や個人消費の一部に回復の兆しを見せる一方、欧州の財政問題などの金融不安を背景に長期化する円高・株安の影響から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このようななか、当社グループにおきましては、業務用カラオケ事業の成長分野であるエルダー市場の開拓に注力いたしました。カラオケ・飲食店舗事業におきましては、新規店の出店を抑え既存店の収益改善施策に注力いたしました。また、音楽ソフト事業におきましては、前年同期に計上したアミューズメン

ト機器向けの一時的な売上の剥落に加え、震災後の新作リリース自粛などの影響もあり、収益は厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、当中間期の売上高は音楽ソフト事業とその他の事業が減収となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増収となり62,150百万円(前年同期比2.2%増)となりました。利益面におきましては、カラオケ・飲食店舗事業が増益となったものの、業務用カラオケ事業と音楽ソフト事業の減益により営業利益は9,111百万円(同0.1%減)、経常利益は営業外収支の改善により、9,944百万円(同3.8%増)となりました。一方、中間純利益は、一部事業の撤退に伴う特別損失の計上と税負担の増加により5,256百万円(同2.4%減)となりました。

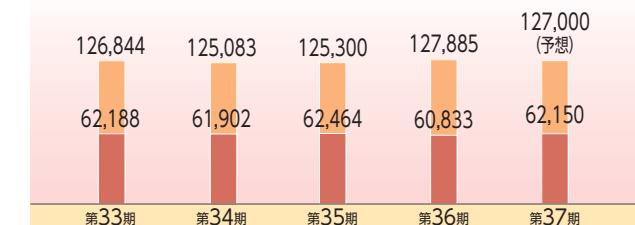
通期の見通し

通期の見通しにつきましては、3月に発生しました東日本大震災の影響を受け厳しい状況が続くものと予想しておりました。しかしながら、当中間期においては、主力の業務用カラオケ事業の出荷が好調に推移したほか、カラオケ・飲食店舗事業においては、既存店が回復基調で推移した結果、営業利益、経常利益および中間純利益ともに予想を上回ることとなりました。

景気の先行きは不透明であり個人消費の低迷も予想されるなど環境は厳しさを増している状況であります。当中間期の業績を踏まえ、2011年6月13日発表の業績予想を修正し、売上高1,270億円、営業利益180億円、経常利益194億円、当期純利益105億円を見込んでおります。

連結財務ハイライト

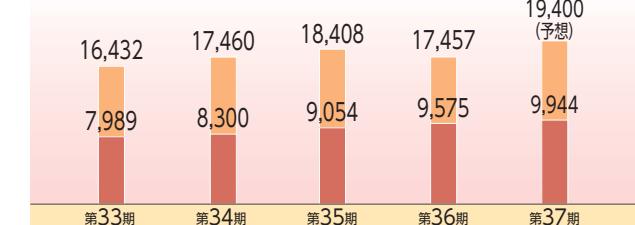
連結売上高 (単位:百万円)



連結営業利益 (単位:百万円)



連結経常利益 (単位:百万円)

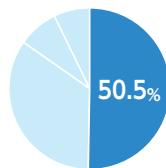


連結中間(当期)純利益 (単位:百万円)



セグメント別概況

業務用カラオケ事業



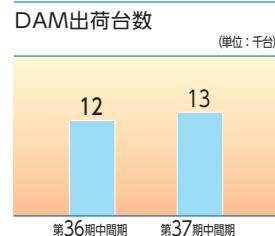
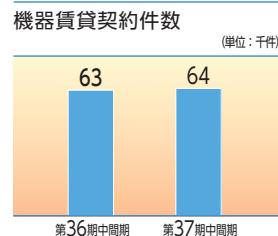
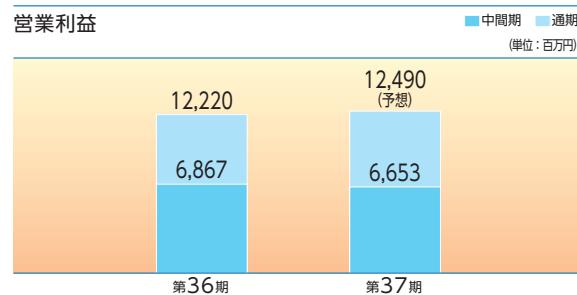
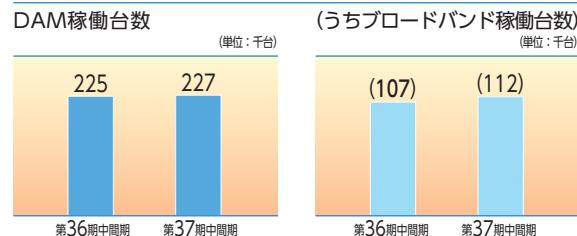
売上高 **31,402** 百万円 (前年同期比 **2.9%**増)

営業利益 **6,653** 百万円 (前年同期比 **3.1%**減)

当事業におきましては、昨年10月に発売した「LIVE DAM (DAM-XG5000)」は、既存機種との差別化商品としての評価も高く、出荷は好調に推移いたしました。また、重点戦略として取り組む低シェア地域での営業強化に加え、取り組みを強化したエルダー市場での端末導入台数が着実に増加するとともに、被災地域での再開需要などもあり、安定収益の基盤となる「DAM」の稼働台数および機器賃貸件数は順調に増加いたしました。

以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比2.9%増加の31,402百万円、営業利益につきましては、同3.1%減少の6,653百万円となりました。

●主要数値



TOPICS (業務用カラオケ事業)

◆DKエルダーシステム推奨機「FREE DAM」と、より利便性を追求したデンモク「PM300zB」を発売(2011年10月)

FREE DAM

シニアの元気と健康をサポートするエルダーコンテンツを搭載し、軽量性・機動性に優れた設計で福祉・介護施設等をサポートしてまいります。

- 「FREE DAM」本体と「専用スピーカー内蔵ラック」は取り外しができ、用途に応じた設置が可能
- 本体に10.1インチタッチパネルモニターとアンプを内蔵
- 約3万曲の厳選したカラオケ楽曲を初期搭載 (うち本人映像は約300曲)
- 「精密採点Ⅱ」「完唱! 歌いきりまショー!!」などの人気コンテンツを搭載
- DKエルダーシステムコンテンツ※を搭載(オプションとして運動・体操・懐郷映像などのプレミアムコンテンツを順次追加予定)
- 片手で使える「簡易リモコン」が付属

※「DKエルダーシステム」コンテンツについてはP12をご覧ください



付属の簡易リモコン

「FREE DAM」+「専用スピーカー内蔵ラック」



デンモクPM300zB

高齢者向けに操作性・視認性を向上させた「らくらくデンモク」機能を搭載し、さらに使いやすくなりました。

- 文字が大きい
- よく使う機能だけのシンプルなメニュー表示

◆「Dramatic Active Member's DAM倶楽部」パイロットショップをオープン

Dramatic Active Member's

DAM
倶楽部

日本の総人口に占める65歳以上の割合は2割を超え、そのうち介護施設などの対象とならない健康高齢者(=元気高齢者)は約8割を超えていると言われています。

当社グループは、元気高齢者にご利用いただく施設として、2011年11月1日、会員制の「DAM倶楽部」を東京・高円寺にオープンいたしました。

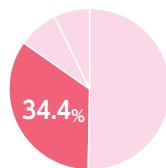
音楽や運動を中心としたスタジオや、精進料理・天然酵母のパンを楽しめるカフェラウンジ、カラオケもできる多目的ルームなど大人のための新しいコミュニティスペースです。



詳しくはP11をご覧ください

セグメント別概況

カラオケ・飲食店舗事業



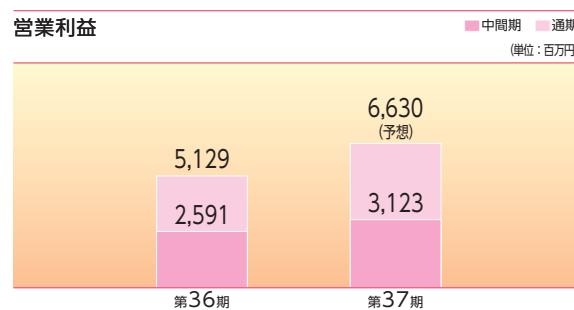
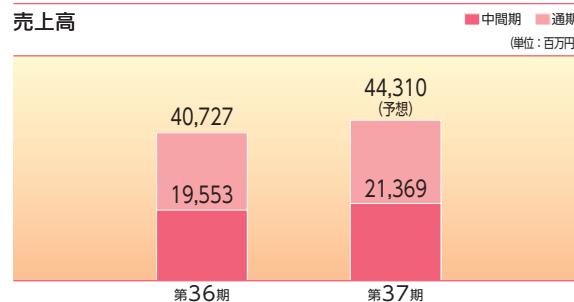
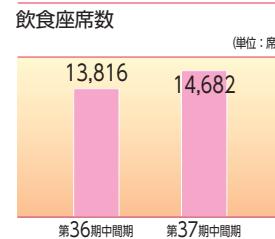
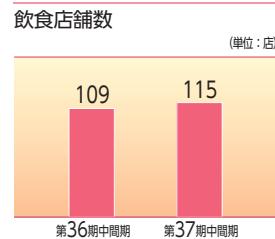
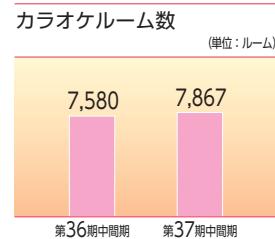
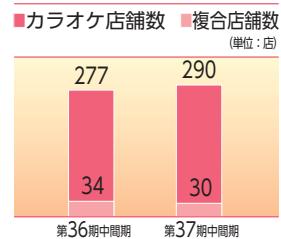
売上高 **21,369** 百万円 (前年同期比 **9.3%**増)

営業利益 **3,123** 百万円 (前年同期比 **20.5%**増)

当事業におきましては、期初においては震災後の自粛ムードから弱含みで推移したものの、期半ばからは一転して被災地域を中心とした震災の復興需要やレジャーの「安・近・短」志向の高まりから、「カラオケ」が身近な娯楽として再評価されるなど、集客は回復基調で推移いたしました。また、多様な地域や消費者ニーズを取り込むため、「ビッグエコー」のマルチブランド化や飲食店舗における業態変更等に積極的に取り組むなど、既存店の収益回復に注力いたしました。

以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比9.3%増加の21,369百万円、営業利益につきましては、同20.5%増加の3,123百万円となりました。

●主要数値



TOPICS (カラオケ・飲食店舗事業)

「ビッグエコー」～お得な情報の発信と社会貢献への取り組み～

◆新ホームページ開設&携帯会員登録スタート

ビッグエコーをより楽しく、よりお得にご利用いただくため、ホームページを一新するとともに、携帯サイトを開設いたしました。

料金・営業時間・キャンペーン情報やクーポンなどの店舗情報をタイムリーに発信するほか、Web上での店舗予約が可能となりました。

携帯サイトは、無料で簡単に会員登録ができ、会員様限定のクーポンやメールマガジンが届くなどお得な情報を入手できます。ぜひ、ご活用ください。



◆災害時帰宅支援ステーションの取り組みに参加

当社グループは、2011年9月に関東・関西地区と「災害時における帰宅困難者支援に関する協定」を締結し、当該地域のビッグエコー192店舗を災害時帰宅支援ステーションと認定し広域的な帰宅困難者対策への取り組みに参加しております。その他の地域におきましても、順次対応を進めてまいります。

【災害時帰宅支援ステーション】

大規模災害時に帰宅困難者の支援を行う。

- 水(水道水)、トイレ、休憩所(店舗の一部)の提供
- 道路情報や通行可能な道路に関する情報の提供

【対象店舗】

- 右記ステッカー表示のある店舗
- 関東9都都市(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市)
 - 関西2府6県4政令市(滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・和歌山県・徳島県・三重県・奈良県・京都市・大阪市・堺市・神戸市)



「ダイニングバー」～カラオケも楽しめる共有ルームが好評～

当社グループが運営する飲食店舗のうち、カラオケ付き個室を併設する飲食店舗は、全国に41店舗展開しております。(2011年10月末現在)

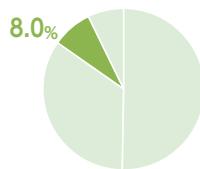
ダイニング店舗の本格的な料理とカラオケが楽しみ、1次会から2次会まで、お店を移動することなく楽しめるとご好評いただいております。ぜひ、忘年会や新年会などご利用ください。

今後も、さらなる顧客満足度の向上を目指し、サービス・飲食の充実を図ってまいります。



セグメント別概況

音楽ソフト事業

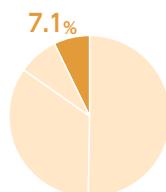


売上高 **4,996** 百万円 (前年同期比 **16.2%**減)

営業利益 **376** 百万円 (前年同期比 **45.6%**減)

当事業におきましては、コストコントロールによる経営の効率化が定着するなか、「北島三郎」(日本クラウン)や「Perfume」(徳間ジャパンコミュニケーションズ)などの主力アーティストの作品群やスタジオジブリのDVDが収益に貢献いたし

その他の事業



売上高 **4,382** 百万円 (前年同期比 **8.8%**減)

営業利益 **393** 百万円 (前年同期比 **15.1%**減)

当事業におきましては、携帯電話向けコンテンツサービスと衛星放送事業の加入者数は減少傾向にあることから、コンテンツの統廃合などのコスト低減に努める一方、衛星放送事業の不採算となっていた一部事業を2012年3月末に撤退を決

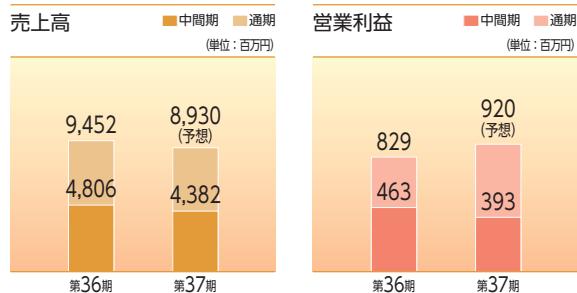
ました。また、利益率の高い音楽配信では、「ソナーポケット」(徳間ジャパンコミュニケーションズ)が貢献いたしました。

以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比16.2%減少の4,996百万円、営業利益につきましては、同45.6%減少の376百万円となりました。



定するなど、収益の改善に注力いたしました。また、ホテル事業やパーキング事業なども軟調に推移いたしました。

以上の結果、当中間期の売上高は、前年同期比8.8%減少の4,382百万円、営業利益につきましては、同15.1%減少の393百万円となりました。



TOPICS (音楽ソフト事業)

話題のアーティストをご紹介します。

◆ J-POP



Perfume TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS
最新シングル「スパイス」は、初の地上波ドラマ主題歌に起用され、大ヒット中! さらに、2011年11月には2年4ヶ月ぶりとなるファン待望のオリジナルアルバム「JPN」を発売。2012年1月からは、アルバムをひっさげてのライブツアーを開始するなど来年もパワー全開です。



ソナーポケット TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS
上半期のレコチョクランキング*で堂々2位にランクインし、音楽配信を中心にブレイク中。2011年10月には「365日のラブストーリー。」を発売。
2011年上半年にダウンロードされた「着うたフル」、「着うたフルプラス*」、音楽ダウンロード(シングル)合算のランキングです。



Tiara CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.
恋愛の歌姫Tiaraの新曲「WINTER GIFT with MIHIRO ~ マイロ ~」はJ-R&B界をリードするシンガー「MIHIRO ~ マイロ ~」とのデュエットバラード。2012年1月には待望の3rdアルバムを発売予定。



MAN WITH A MISSION CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.
頭はオオカミ・身体は人間という一度見たら忘れられない容姿で話題沸騰中! ロングセールスを記録中の1stアルバムに引き続き2011年10月にはミニアルバム「Trick or Treat e.p.」を発売。

◆ 演歌・歌謡曲



北島三郎 CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.
「歌で少しでも皆さんに元気になって貰いたい」と、常日頃から言っている北島三郎の「艶歌魂」が込められた新曲「さだめ道」を2011年10月に発売。11月には大阪新歌舞伎座での特別公演も無事終了し、今年75歳にして益々パワーアップしたサブちゃんに今後もご期待ください。



水森 かおり TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS
“歌で旅するアルバム”の第10弾「歌謡紀行X~庄内平野 風の中~」を2011年10月に発売。ご当地ソングの女王・水森かおりの大人気シリーズです。



千昌夫 TOKUMA JAPAN COMMUNICATIONS
最新シングル「いっぽんの松」は、大津波に遭いながらも奇跡的に残った陸前高田市にある1本の松の木がテーマ。岩手出身の千昌夫が、故郷への熱い思いを込めて歌い上げます。



星野哲郎 CROWN NIPPON CROWN Co.,Ltd.
作詩家・星野哲郎の代表曲を集めたオムニバスアルバムを発売。メーカーの枠を超え、「三百六十五歩のマーチ」や「男はつらいよ」などの名曲18曲をオリジナル音源・オリジナル歌手で収録。

連結決算概要

▶ 詳細な財務情報は、当社

ホームページ「株主・投資家情報」<http://www.dkkaok.co.jp/stockinfo/>をご覧ください。

■連結貸借対照表の要旨(中間)

(単位：百万円)

科目	第36期 2011年3月31日現在	第37期中間 2011年9月30日現在
資産の部		
流動資産	50,446	47,740
固定資産	87,001	89,602
有形固定資産	47,085	51,367
無形固定資産	8,063	7,150
投資その他の資産	31,852	31,085
資産合計	137,447	137,343

負債の部		
流動負債	25,398	24,896
固定負債	24,014	22,655
負債合計	49,413	47,552

純資産の部		
株主資本	87,934	90,160
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	14,035	14,035
利益剰余金	61,552	64,883
自己株式	△ 4	△ 1,108
その他の包括利益累計額	△ 851	△ 1,351
その他有価証券評価差額金	91	△ 337
土地再評価差額金	△ 777	△ 777
為替換算調整勘定	△ 164	△ 236
少数株主持分	951	982
純資産合計	88,034	89,791
負債及び純資産合計	137,447	137,343

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

<注記事項>	第36期	第37期中間
1. 保証債務	301百万円	208百万円
2. 1株当たり純資産額	1,356円06銭	1,400円00銭

POINT

●流動資産

流動資産の減少2,705百万円は、前払費用の増加986百万円、現金及び預金の増加273百万円、受取手形及び売掛金の減少3,641百万円が主なものであります。

●固定資産

固定資産の増加2,601百万円は、土地の増加4,253百万円、音源映像ソフトウェアの減少696百万円、投資有価証券の減少664百万円が主なものであります。

●流動負債

流動負債の減少501百万円は、未払法人税等の増加1,195百万円、支払手形及び買掛金の減少2,498百万円が主なものであります。

●固定負債

固定負債の減少1,359百万円は、長期借入金の減少1,201百万円が主なものであります。

■連結損益計算書の要旨(中間)

(単位：百万円)

科目	第36期中間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	第37期中間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
売上高	60,833	62,150
売上原価	34,828	36,336
売上総利益	26,005	25,813
販売費及び一般管理費	16,881	16,701
営業利益	9,124	9,111
営業外収益	707	1,151
営業外費用	256	318
経常利益	9,575	9,944
特別利益	387	39
特別損失	1,168	812
税金等調整前中間純利益	8,794	9,171
法人税、住民税及び事業税	3,863	4,241
法人税等調整額	△ 547	△ 362
少数株主損益調整前中間純利益	5,478	5,292
少数株主利益	90	35
中間純利益	5,388	5,256

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

<注記事項>	第36期中間	第37期中間
1株当たり中間純利益	81円95銭	81円99銭

POINT

●売上高

音楽ソフト事業とその他の事業が減収となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増収となったことから前年同期比2.2%増加の62,150百万円となりました。

●営業利益・経常利益

カラオケ・飲食店舗事業が増益となったものの、業務用カラオケ事業と音楽ソフト事業の減益により営業利益は前年同期比0.1%減少の9,111百万円、経常利益は営業外収支の改善により同3.8%増加の9,944百万円となりました。

●中間純利益

一部事業の撤退に伴う特別損失の計上と税負担の増加などにより前年同期比2.4%減少の5,256百万円となりました。

■連結キャッシュ・フロー計算書の要旨(中間)

(単位：百万円)

科目	第36期中間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	第37期中間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,069	14,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,614	△ 10,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,722	△ 3,840
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 55	△ 26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 3,323	511
現金及び現金同等物の期首残高	33,877	26,573
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,554	27,085

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

●営業活動によるキャッシュ・フロー

・税金等調整前中間純利益 9,171百万円
・減価償却実施額 6,691百万円
・売上債権の減少 3,635百万円

●投資活動によるキャッシュ・フロー

・有形固定資産の取得による支出 8,468百万円
・無形固定資産の取得による支出 1,437百万円
・映像使用許諾権の取得による支出 664百万円

●財務活動によるキャッシュ・フロー

・長期借入金の返済による支出 2,220百万円
・配当金の支払額 1,925百万円
・長期借入れによる収入 1,300百万円

歌って、踊って、楽しみながら元気になる—— 成長する「プラス65」市場に向けた事業展開

高齢化社会の進展のなかで、今後さらなる成長が見込まれる65歳以上のエルダー市場。第一興商では、このマーケットを「プラス65」と名付け、カラオケを通じた高齢者の健康維持・増進、介護予防およびコミュニティづくりに取り組んでいます。

今回の「クローズアップ 事業探訪」では、この「プラス65」市場における、健康な高齢者を対象とした「Dramatic Active Member's DAM倶楽部」と、生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」についてご紹介します。

【健常高齢者向け市場への取り組み】

歌う楽しさを共有し、健やかな毎日を楽しめる 大人のためのコミュニティスペース「DAM倶楽部」

65歳以上のうち介護施設などの対象にならない元気高齢者は、約8割を超えていると言われています。このような方々の健康維持・増進や介護予防を目的として新たにスタートしたのが「Dramatic Active Member's DAM倶楽部(以下、DAM倶楽部)」です。去る11月1日、東京・高円寺にそのパイロットショップがオープンしました。

DAM倶楽部は“歌と健康とコミュニケーション”をテーマにした参加型コミュニティ事業で、地域の人々が歌う楽しさを共有できるコミュニティクラブとして、今後100店舗を目指して展開する予定です。店舗施設は、ゲストを迎え入れる「トキラウンジ」や健康チェックが受けられる「ケアラウンジ」、知識欲を満たす「ライブラリーラウンジ」、心地よくくつろげる「カフェラウンジ」と、それぞれコンセプトの異なる4つのラウンジのほか、音楽系スタジオ、運動系スタジオ、カラオケルームで構成。カラオケやカフェは随時利用可能で、各スタジオではプロの講師陣による音楽や運動をテーマとした多彩な講座を開催しています。

同じ地域に暮らす人々が若さと健康を保ちながら、コミュニケーションを深めることで“絆”を実感できるDAM倶楽部。まだ緒についたばかりの私たちの新たな試みは、高齢化や地域活性化を見据えた社会貢献事業として今後の成長が大いに期待されています。



DAM倶楽部 高円寺

住所 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南3-46-10
アクティオーレ高円寺南5～7階(受付5階)
電話でのお問い合わせ 03-5913-7220
(午前9時～午後6時)
メールでのお問い合わせ damclub@dkkaraoke.co.jp
ホームページ http://damclub.jp/

【要介護市場(介護・福祉施設)への取り組み】

3つのオリジナルプログラムを駆使して介護予防を支援する 「DKエルダーシステム」

厚生労働省は、口腔・運動・認知の機能向上・改善や、生活・交流・参加の活性化を介護予防の柱としています。この考え方に合致しているのが、12年前から高齢者の介護予防や健康維持、生きがいをづくりの支援に取り組んできた第一興商の生活総合機能改善機器「DKエルダーシステム」です。多彩な先進機能を搭載したカラオケシステム「FREE DAM」を核に、聴覚や視覚、身体感覚を使って楽しむ「DKエルダーシステム」の効能は、昨年9月からスタートした第一興商と東北福祉大学との共同研究で次第に明ら

かになり、「カラオケを楽しむと元気になる」という誰もが直感的に感じているイメージが学術的にも証明されつつあります。

現在、福祉施設など全国5,400ヵ所以上に導入されている「DKエルダーシステム」は、「音楽を使う」「体を使う」「目で観る」という3つのオリジナルプログラムで構成され、それぞれが高齢者の口腔機能、運動機能、認知機能の向上・改善に寄与するように設計されています。

音楽を使う (音楽プログラム)

仲間と歌って、元気な心を取り戻す

歌うことには心理的な発散作用があり、歌詞の内容に感動する、あるいは、日頃の不満や鬱憤を外に出す快感があるとされています。さらに、大きな声で歌うと腹式呼吸となり、身体的にも代謝アップや腹筋運動効果など様々な効能が期待されます。

【音楽プログラムコンテンツ】

童謡や唱歌、抒情歌、演歌等をセレクトした「あの歌、この歌。」など高齢者の音楽療法に適した楽曲を中心に、豊富な音楽コンテンツを用意しています。



音楽療法士の指導のもと、対象者に合わせた様々な曲が揃っています

体を使う (体操プログラム)

音やリズムに乗って、体を楽に動かす

音楽やリズムは体を自然に動かしやすくする効果があり、例えば、歩行が困難な方も音楽やリズムを伴う体操はリハビリとしても応用されています。また、リズムに合わせて歌い、手足を動かすことは運動機能向上やリラックス増進にも有効です。

【体操プログラムコンテンツ】

「ラジオ体操」や「歌謡体操」のほか、1年間の各月の歌に独自の振り付けを施した「わくわく12ヵ月」など、楽しい音楽レクリエーションコンテンツが満載です。



「わくわく12ヵ月」
[7月]新鮮な気分で元気よくラジオ体操風

目で観る (映像プログラム)

懐かしい映像に触れて、気持ちが若返る

青春時代に見た映画や若かった頃の故郷の風景といった懐かしい映像には、深層心理に隠された古き良き時代の思い出を蘇らせる効果があります。この回想誘発機能によって、加齢に伴って低下する注意力や記憶力を維持・回復することができます。

【映像プログラムコンテンツ】

思い出の「日活映画映像」や全国10地区の「懐郷映像」、さらに美しい「環境映像」などを用意。懐かしくて癒される映像コンテンツが充実しています。



環境映像(曲間BGV)

会社概要

会社概要 (2011年9月30日現在)

商号	株式会社 第一興商 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
所在地	〒141-8701東京都品川区北品川5-5-26 電話 (03) 3280-2151 (大代表)
設立	1973年4月16日
資本金	12,350百万円
従業員数	当社 1,536名 グループ 3,065名
JASDAQ上場	1995年9月19日

役員 (2011年9月30日現在)

取締役会長	保志忠彦
代表取締役社長	林三郎
専務取締役	兼上席執行役員 根本賢一
専務取締役	兼上席執行役員 熊谷達也
専務取締役	兼上席執行役員 三富洋
常務取締役	兼上席執行役員 保志忠郊
常務取締役	兼上席執行役員 村井裕一
常務取締役	兼上席執行役員 和田康孝
取締役	兼執行役員 渡邊泰人
取締役	兼執行役員 三宅彰
取締役	吉川満
取締役	清水義美
常勤監査役(社外)	掛川洋
常勤監査役(社外)	石坂文人
常勤監査役	高瀬信行
監査役(社外)	有近真澄
	執行役員 有馬伸治
	執行役員 西島勲
	執行役員 小澤慎一
	執行役員 小椋久広
	執行役員 飯島毅
	執行役員 吉澤明人

第一興商グループ 当社及び連結子会社

39社

(2011年9月30日現在)



主な事業内容

- 業務用カラオケ事業
- カラオケ・飲食店舗事業
- 音楽ソフト事業

国内販売子会社 25社

(株)北海道第一興商	(株)城北第一興商	(株)北陸第一興商
(株)釧路第一興商	(株)台東第一興商	(株)京都第一興商
(株)北東北第一興商	(株)城東第一興商	(株)第一興商近畿
(株)東北第一興商	(株)城西第一興商	(株)京阪第一興商
(株)福島第一興商	(株)湘南第一興商	(株)兵庫第一興商
(株)常磐第一興商	(株)新潟第一興商	(株)九州第一興商
(株)群馬第一興商	(株)長野第一興商	(株)沖縄第一興商
(株)栃木第一興商	(株)静岡第一興商	
(株)埼玉第一興商	(株)東海第一興商	

その他国内子会社 10社

(株)ディーケーファイナンス	(株)ディーケー音楽出版
日本クラウン(株)	(株)クラウンミュージック
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ	(株)ズームリパブリック
クラウン徳間ミュージック販売(株)	ユニオン映画(株)
(株)トライエム	丸萩洋酒工業(株)

海外子会社 4社

(株)韓国第一興商	第一興商電子貿易(上海)有限公司
第一興商(上海)電子有限公司	D.K.Enterprises(Guam),Inc.

(注) 1. (株)東北第一興商(存続会社)と(株)福島第一興商は2011年10月に合併し、(株)福島第一興商は解散しております。
2. ベスタ・フーズ(株)は2011年8月に当社と合併し、解散いたしました。

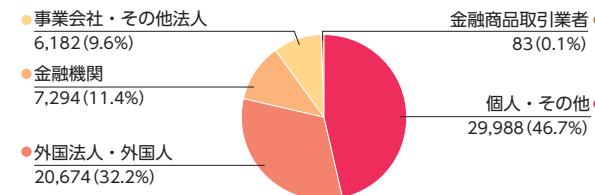
株式の状況 (2011年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 200,000,000 株
- 発行済株式の総数 64,220,596 株
- 株主数 14,767 名
- 大株主

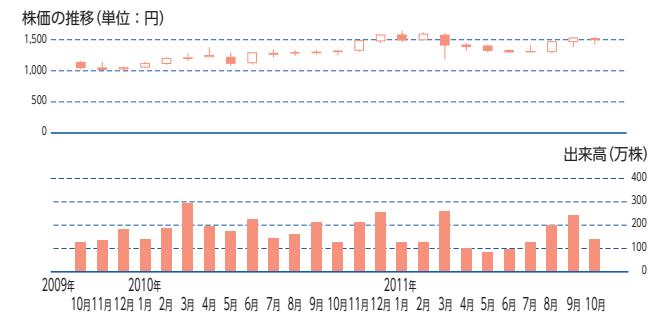
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
保志忠郊	8,069	12.5
保志治紀	7,877	12.2
(有)ホシ・クリエート	4,449	6.9
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	4,222	6.5
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドン	1,701	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,610	2.5
メロンバンクフリーティークライアーツオムニパス	1,254	1.9
三菱UFJ信託銀行(株)	1,148	1.7
第一興商社員持株会	1,034	1.6
第一生命保険(株)	900	1.4

(注) 1. 当社は785,563株の自己株式を保有しております。
2. 持株数、議決権比率は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■所有者別株式分布 (単位:千株/構成比)



■株価(月足)チャート



ホームページのご案内

ホームページをリニューアルしました。
投資家の皆様に役立つ情報やビッグエコー
のお得な情報、DAM倶楽部の講座情報など
を掲載しております。
ぜひアクセスしてください。

URL <http://www.dk karaoke.co.jp/>



トップページ



ビッグエコー



DAM倶楽部

上記画面は2011年10月末現在